

8 月 5 日にプランクトン調査(播磨灘)を行いましたので、その結果をお知らせします。

【概況】

- ・魚毒性を示す有害プランクトン、カレニア・ミキモイとコクロディニウム・ポリクリコイデスが確認されました。両種ともに増殖傾向にありますので今後の情報にご注意ください。
- ・貝毒の原因となる有毒プランクトンは確認されませんでした。
- ・小型珪藻類はキートセロス属が 100 細胞/mL 前後の密度で見られます。

表 : 2022 年 8 月 5 日 有害・有毒プランクトン調査結果 (海水 1 ミリリットルあたりの細胞数)

調査地点	水深 (m)	シャットネラ・アンティカ	シャットネラ・マリーナ	シャットネラ・オバータ	シャットネラ (3 種合計)	カレニア・ミキモイ	コクロディニウム・ポリクリコイデス	At complex (旧) <i>A. tamarense</i> (旧称アレキサンドリウム・タマレンセ)	At complex (旧) <i>A. catenella</i> (旧称アレキサンドリウム・カテナラ)
KA23	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	10	0	0	0	0	0	0	0	0
KA1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	10	0	0	0	0	0	0	0	0
KA2	0	0	0	0	0	0	9.0	0	0
	10	0	0	0	0	0	0	0	0
KA3	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	10	0	0	0	0	0	0	0	0
KA4	0	0	0	0	0	0.7	2.0	0	0
	10	0	0	0	0	0	0	0	0
KA5	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	10	0	0	0	0	1.0	0	0	0
KA6	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	10	0	0	0	0	0	0	0	0
KA7	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	10	0	0	0	0	0	0	0	0
K4	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	10	0	0	0	0	0	0	0	0
HK1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	10	0	0	0	0	0	0	0	0
T3	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	10	0	0	0	0	0	0	0	0
SH	0	0	0	0	0	7.3	0	0	0
	10	0	0	0	0	8.3	0	0	0
屋島湾	0	0	0	0	0	<b>69.7</b>	0	0	0
	2	0	0	0	0	<b>93.3</b>	0	0	0

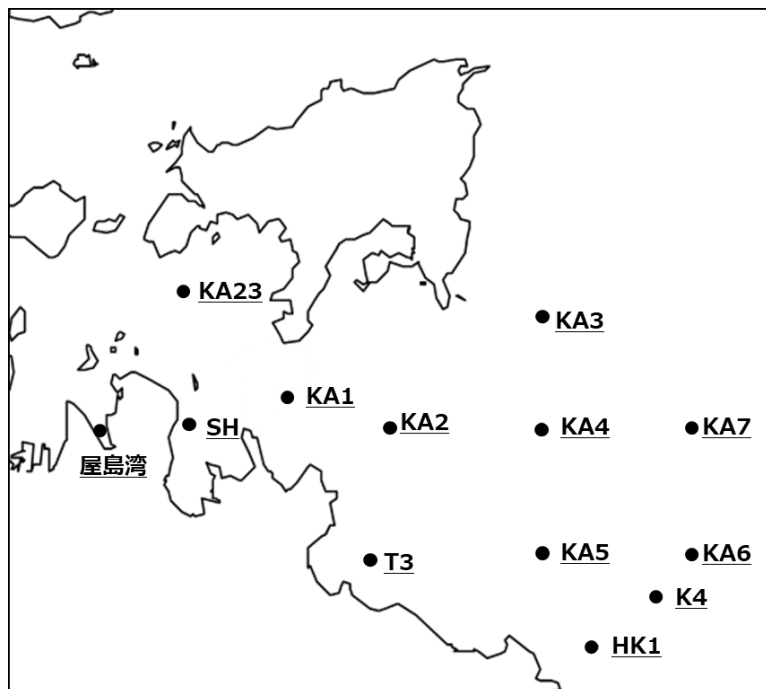
【有害・有毒プランクトンに関するお問い合わせ】

香川県農政水産部 赤潮研究所(担当:小川・松下) 電話 087-843-6511

香川県農政水産部 水産課漁業振興・流通グループ(担当:和田) 電話 087-832-3471

(別紙)

図：調査定点（播磨灘：浅海定線調査事業）



【参考】香川県の有害・有毒プランクトンの基準密度

種名	注意基準	警戒基準
シャットネラ・アンティカ	1 細胞/mL (3 種の合計値)	10 細胞/mL (3 種の合計値)
シャットネラ・マリーナ		
シャットネラ・オバータ		
カレニア・ミキモトイ	10 細胞/mL	500 細胞/mL
コクロディニウム・ポリクリコイデス	100 細胞/mL	1000 細胞/mL
旧アレキサンドリウム・タマレンセ	-	5 細胞/mL
旧アレキサンドリウム・カテネラ	-	50 細胞/mL